

公立碓氷病院経営強化プラン点検・評価書

令和8年2月

安中市

目次

1	点検・評価に当たって.....	1
	(1) はじめに.....	1
	(2) 点検・評価の方法.....	2
2	点検・評価について.....	3
	(1) 点検・評価.....	3
	(2) 公立碓氷病院経営強化検討委員会における主な意見.....	3

添付資料

公立碓氷病院経営強化プラン掲載指標の達成状況及び自己評価

1 点検・評価に当たって

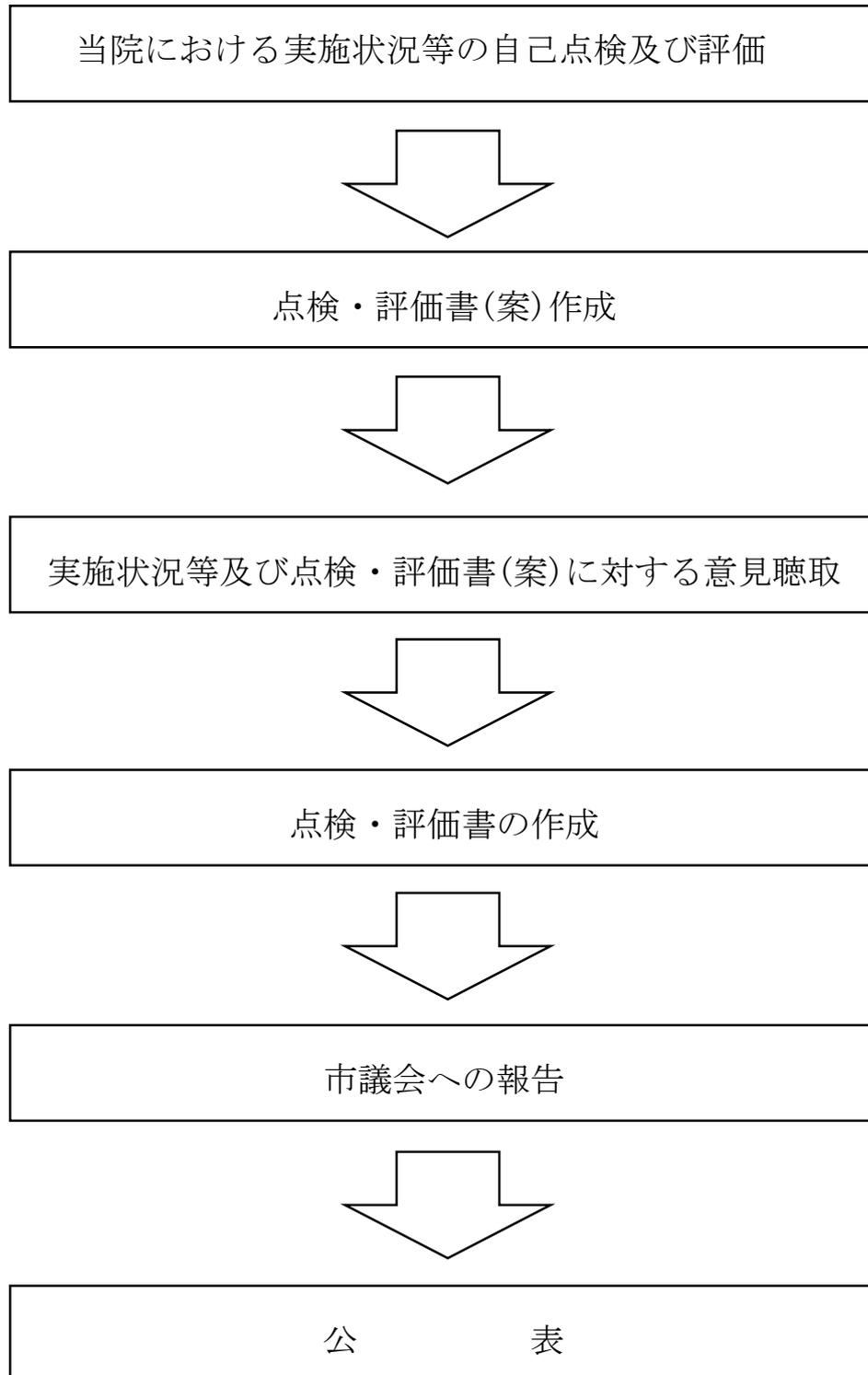
(1) はじめに

公立碓氷病院経営強化プラン(以下、「本プラン」という。)は、総務省が策定した「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を踏まえ、当院が地域で求められている機能や役割を整理し、群馬県の地域医療構想を踏まえた上で、本プランを令和6年3月に策定しました。

本プランについては、実施状況の点検及び評価を概ね年1回以上行うこととし、評価の過程においては、客観性を確保できるよう外部有識者等で構成される委員会等に意見聴取を行うこととなっています。

最初に、令和6年度の本プラン実施状況について、自己点検及び評価を行いました。

(2) 点検・評価の方法



2 点検・評価について

(1) 点検・評価

本プラン記載の数値目標に対して実施状況の自己点検・評価を行い、評価の客観性を確保するため、※公立碓氷病院経営強化検討委員会において意見聴取を行いました。

※公立碓氷病院経営強化検討委員会：外部有識者、市民、医療関係者など18名から構成されている。

(2) 公立碓氷病院経営強化検討委員会における主な意見

【収支改善・収入確保に係るもの】

○入院患者数と外来患者数が増えて患者単価も増えているが、医業収支比率が悪化している。他の費用が増えたのか。

〈当院事務局〉

→医業収支は上がったが、物価高騰等の要因もあり、医業費用がそれ以上に上がっている状況。

【収支改善・経費節減に係るもの】

○医業収支比率が悪く、物価高騰の影響で材料費等が上がっているため、何かコストを下げる方策を考えているのか。

〈当院事務局〉

→薬品や材料費のコスト削減に向けて、共同購入化を検討している。

【経営の安定性に係るもの】

○令和6年度より新たに加わった常勤歯科医師を上手く活用した方がよい。今後の考え等はあるのか。

〈当院委員〉

→(令和7年度から)当院で摂食・嚥下チームを立ち上げて、歯科医師も参加している。

○医師も増えているし、今後よりよい病院になってほしい。

〈当院事務局〉

→診療科や内容の充実をさらに図って、よりよい病院を目指していく。

【医療機能等に係るもの】

○救急車搬送件数に関して、受け入れ可能な市内の搬送は、なるべく市内で受け入れてほしい。また、高崎市等の超急性期や急性期からのリハビリ目的での入院依頼を積極的に受け入れてほしい。

〈当院委員〉

→受け入れ可能な状況である場合には、必ず受け入れている。今後についても、できるだけスムーズ、かつ、適切な時期に受け入れができるように努力する。

○通所リハビリ利用者数と訪問看護利用者数が計画と比べて少なかった理由は何か。

[令和6年度の通所リハ利用者数の数値目標：計画6,446人、実績6,055人、比較△391人]

[令和6年度の訪問看護利用者数の数値目標：計画2,621人、実績2,075人、比較△546人]

〈当院事務局及び当院委員〉

→通所リハビリ利用者数について、人員の関係等で営業日が減ってしまった要因が考えられる。また、訪問看護利用者数については、職員の補充やニーズを掘り起こして営業等を行い、現況では利用者数を増やせている。

【その他】

○入山と細野の診療所を含めて、地域医療の重要性を考え、地域医療を守っていく使命を持って診療を続けてほしい。

〈当院事務局〉

→公立病院の使命として、しっかりと予算化できるよう努力していく。

○インスタグラム等を含めて、病院が行っている色々な活動を広報したり、地域の人達に説明していくことも大切。

〈当院事務局〉

→定期的に広報誌を発行し、出前講座の開催やインスタグラム等を活用して当院が行っている様々な活動を広報している。今後についても、積極的に情報を発信していく。